

## 子どもと本をつなぐために

### ●本は心の栄養です

本は、子どもの心の中に宝物を増やし、その子の世界を広げます。

### ●本の世界を楽しみましょう

一緒に楽しむ雰囲気を、創り出すことが大切です。

「新しい何かを知る」「考えを深める」「実際にやってみる」「物語の世界に入り込む」…。

楽しみ方にも色々あります。

### ●ひとりひとりにあった本を選びましょう

「良書」よりも「適書」。子どもの個性や興味にあったものが一番です。

### ●「自分で読めるでしょ」って言わないで

いくつになっても、読んでもらうことは楽しいものです。

「絵本か」と言わないで、一度手に取ってみてください。大人にも響く深い世界があるものです。

### ●「読まなければ」よりも「読みたくなる」へ

「始めを少し読んであげる」「挿絵を見せる」など工夫して。

「私は面白かったよ」と、自分の素直な気持ちを伝える方が効くものです。

### ●本はいろいろなところにあります

まちの図書館、学校図書館、子ども文庫、公民館、児童館…。色々なところで本に出会えます。

おはなし会なども、本に親しむきっかけになります。

やっぱり「本を読むのは人間だけ」なんだ…

## ほんがいっぱい たのしさいっぱい

—読みたい本を見つけるために1—

平成16年（2004年）2月 初版発行

平成26年（2014年）3月 改訂版発行

平成30年（2018年）3月 三訂版発行

平成31年（2019年）3月 三訂版第2刷発行

編集・発行：滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577

大津市京町四丁目1-1

電話（077）528-4651

印刷：近江印刷株式会社